

学力向上に効果のある取組事例

杵築市立宗近中学校

③ 主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体

○生徒と共に創る授業の取組（生徒会活動）

【「授業共創宣言」に基づいた生徒会各委員会の活動】

平成29年度に生徒会執行部により提起され、現在まで受け継がれている。毎年4月の生徒総会で宣言・承認され、それをもとに各委員会が「学びに向かう意識づくり」のための活動に取り組んでいる。

1. 協議委員会 「2分前着席・1分間黙想」

本校は終日ノーチャイムで学校生活を送っている。時間を意識し、休み時間とのメリハリをつけることを目的に、点検活動や表彰を行っている。

2. 学習委員会

(1) 「発表推進キャンペーン」

全校生徒の発表回数を増やし、主体性を高め、授業の活性化を図る。授業中の挙手回数をチェックし、全校で上位3名が表彰される。

(2) 「学級対抗家庭学習コンテスト」

みんなで高め合うことで学習時間の増加を目指す。テスト前1週間程度、家庭学習時間を調査し、設定された目標時間の達成率で、最優秀学級が表彰される。

(3) 「学習ステーション」

テスト前1週間程度、学習委員の運営で、昼休みや放課後に、希望する生徒のための学習する場を設定する。生徒自身で分からないところを解決する、生徒同士の「学び合い」を基本とし、教職員もサポート役として参加する。

3. 保体委員会 「お昼の3分ストレッチ」

リフレッシュをし、午後からの授業に集中するためにストレッチを行う。保体委員が放送室からCDを流し、生徒も教職員もみんなで取り組む。

授業共創宣言

わたしたち宗中生は、先生方と共に学びに向かい、次のような授業を創りあげていくことを宣言します。

- 一、全員参加のメリハリのある授業
- 一、集中し、粘り強く課題に取り組む授業
- 一、学び合い、広がりや深まりのある授業

平成二十九年四月二十八日生徒総会にて

宗近中学校生徒会

《学級対抗家庭学習コンテスト》



学級ごとに家庭学習の時間を調べ、学習委員がシールを貼る

《学習ステーション》



「1人コース」と「教え合いコース」の2コースがある